

2. 平成 18 年度研究発表等

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
Stand der Forschung und Anwendung des Membranbelebungsverfahrens in Europa	(Johannes Pinnekamp) Hiroki Itokawa (Christoph Thiemig)	Proceedings of Membrantage 2003	DWA			2006.6
Operation Experience of Municipal MBR in Europe	(Christoph Thiemig) Hiroki Itokawa (Johannes Pinnekamp)	第41回日本水環境学会年会講演集	(社)日本下水道協会		224	2006.3
Characteristics of Estrogen Decomposition by Ozonation	橋本敏一 高橋 梢 村上孝雄	Water Science & Technology 5 th World Water Congress	IWA出版	Vol. 54 No. 10		2006.9
Japanese Experience MBR Applications to Municipal Wastewater	村上孝雄 〈太田秀司〉 中筋康之	第10回日独排水及びスラッジ処理についてのワークショップ会議録 国総研資料 第360号	国土技術政策総合研究所	土研資料 第4040号		2007.2
膜分離を適用した高度処理施設の開発	〈 太田秀司 〉 村上孝雄	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下水道協会		791~ 793	2006.7
PVDF浸漬平膜による膜分離 活性汚泥法の検討	(竹村清和) (能登一彦) 村上孝雄 〈太田秀司〉	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下水道協会	—	773~ 775	2006.7

注) 〈著者名〉 : 元技術開発部員
 (著者名) : JS以外
 太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
下水汚泥溶融スラグを骨材とした硫黄固化体の開発基礎調査	島田正夫 〈山崎友道〉 (中野裕一)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	383～ 385	2006.7
下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリートの錆発生状況についての一考察	島田正夫 (西野一人) (大西崇史)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	389～ 391	2006.7
多孔質結合固定化担体の機能に関する一考察	〈宮岡武志〉 村上孝雄 (湧田啓一) (國吉 巖)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	737～ 739	2006.7
マイクロバブルを用いた下水処理水の高度化	(高和真吾) 〈宮岡武志〉 村上孝雄	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	746～ 748	2006.7
エネルギー自立型処理場構築のためのシミュレータの開発	島田正夫 猪木博雅 (羽山秀樹)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	40～42	2006.7
上向流移床型砂ろ過におけるろ過速度の高速化	(土井知之) (奥田正彦) 村上孝雄 中筋康之	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	812～ 814	2006.7
マイクロバブルを用いた消毒・不活化技術の基礎実験	(隅倉みさき) (日高政隆) 村上孝雄 中筋康之	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	821～ 823	2006.7
下水汚泥の固形燃料化事業について	島田正夫 山本博英 嘉戸重仁	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	422～ 424	2006.7

注) 〈著者名〉 : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
従来コンクリートの10倍以上の耐硫酸性を有する材料の開発	(高橋俊之) (新藤竹文) 稲毛克俊 (五十嵐秀明) (佐々木 彰) (佐田国康彦) (大脇英司) (宮原茂禎) 須賀雄一	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	79～81	2006. 7
湿潤接着性が向上した耐硫酸モルタルの開発について	(大西宏二) (澤邊則彦) 稲毛克俊 (平野義信) (岡田由紀彦) 須賀雄一	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	85～87	2006. 7
硝化活性検出器を用いた曝気風量制御	(大塚真之) (関根康記) (能登一彦) 村上孝雄 〈太田秀司〉	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	866～ 868	2006. 7
消化ガス精製プロセスにおける中空糸気液接触器の適用	島田正夫 猪木博雅 (澤原大道)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	1004～ 1006	2006. 7
ディスポーザー単体排水による下水道施設における硫化水素発生に与える影響について	岡本 順 稲毛克俊 (田中文彦)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	677～ 679	2006. 7
リスクを考慮した下水道施設のLCC評価手法の開発	(堀 倫裕) 稲毛克俊 (泉 博充)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	233～ 235	2006. 7
ORP制御を行った反応槽への活性汚泥モデルの適用	(古屋勇治) (森岡崇行) 糸川浩紀 村上孝雄	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	106～ 108	2006. 7

注) 〈著者名〉 : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
酸性電解法を用いた汚泥減量化システムの実証	島田正夫 猪木博雅 (岡村知也) (吉田輝久)	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	1007～ 1009	2006. 7
促進酸化法を利用した複合的酸化分解による超高度処理技術の開発	(穴田健一) (土井知之) (奥田正彦) 村上孝雄 中筋康之	第43回 下水道研究発表 会講演集	(社)日本下 水道協会	—	1019～ 1021	2006. 7
硫酸腐食環境下にある下水道施設の耐硫酸モルタルによる補修工法について	須賀雄一 稲毛克俊 (宮口克一) (寺村 悟) (澤邊則彦) (佐田国康彦) (平野義信)	土木学会平成18 年度全国大会第6 1回年次学術講演 集	(社)土木学 会	—	講演 番号 5-013	2006. 9
アルミナセメントを用いた高強度モルタルの耐硫酸性	(岡本礼子) (大脇英司) (新藤竹文) 稲毛克俊 須賀雄一	土木学会平成18 年度全国大会第6 1回年次学術講演 集	(社)土木学 会	—	講演 番号 5-021	2006. 9
骨材岩種と水セメント比がコンクリートの耐硫酸性に与える影響 [従来コンクリートの10倍以上の耐硫酸性をもつ材料の開発—その1]	(佐々木彰) (高橋俊之) (五十嵐秀明) (宮原茂禎) (新藤竹文) (大脇英司) 稲毛克俊 須賀雄一	土木学会平成18 年度全国大会第6 1回年次学術講演 集	(社)土木学 会	—	講演 番号 5-301	2006. 9
耐硫酸性に優れるコンクリートの施工性に関する検討 [従来コンクリートの10倍以上の耐硫酸性をもつ材料の開発—その2]	(宮原茂禎) (新藤竹文) (大脇英司) (佐々木彰) (高橋俊之) (五十嵐秀明) 稲毛克俊 須賀雄一	土木学会平成18 年度全国大会第6 1回年次学術講演 集	(社)土木学 会	—	講演 番号 5-303	2006. 9

注) <著者名> : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者

論文名	著者名	書籍名	発行所	巻号	頁	発行年月
膜分離活性汚泥法の維持管理コスト低減	(武村清和) (能登一彦) (吉川慎一) 村上孝雄 太田秀司	第 14 回衛生工学シンポジウム 論文集	北海道大学 衛生工学会	—		2006.9
硫酸腐食を受ける下水道鉄筋コンクリート管の腐食劣化予測手法について	須賀雄一 稲毛克俊 (渡邊賢三)	第 14 回衛生工学シンポジウム 論文集	北海道大学 衛生工学会	—		2006.9
欧州の下水道施設における MBR の導入状況	糸川浩紀	第 15 回水環境懇話会	(社)日本水環境学会	—		2006.9
膜分離活性汚泥法のノロウイルス除去性能についての基礎検討	村上孝雄 中筋康之	第 9 回日本水環境学会シンポジウム 講演集	(社)日本水環境学会		p1~2	2006.9
下水処理場のエネルギー自立のための取組み	猪木博雅	第 32 回業務研究発表会	日本下水道事業団			2006.10
J S 技術開発基本計画と技術開発動向	荒井俊博	第 32 回業務研究発表会	日本下水道事業団			2006.10
包括固定化加熱担体による亜硝酸型硝化プロセスの検討	(生田 創) (能登一彦) (井坂和一) (角野立夫) 糸川浩紀 村上孝雄	第 41 回日本水環境学会年会講演集	(社)日本水環境学会		187	2007.3
包括固定化アナモックス担体による汚泥脱離液の処理特性	(井坂和一) (生田 創) (角野立夫) (能登一彦) 糸川浩紀 村上孝雄	第 41 回日本水環境学会年会講演集	(社)日本水環境学会		310	2007.3

注) <著者名> : 元技術開発部員
(著者名) : JS以外
太 字 : 発表者